

令和2年7月13日

保護者の皆様

岡崎市立東海中学校

校長 今枝 武司

生徒の自己学習力を伸ばす本年度の取組について

小暑を過ぎ、夏本番の季節となりました。保護者の皆様方にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日ごろは、本校教育に深いご理解と多大なご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本年度の重点目標を「自分で考え行動する生徒の育成」、「想像力のある生徒の育成」とし、その一環として、生徒の自己学習力を伸ばすために2学期から下記のような取組を進めます。ご家庭のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

記

1 与えられていた学習から自分で考えて進める学習へ

3月から休校になり、家庭での時間が増え、自分で学習を進めることのできる力が大切だと気付いたはずですが。出された宿題は終わってしまっていて、その後、自分で学習を進めることができたでしょうか。

今までの学習は、学校から一律に出された宿題をしていました。宿題の目的は、「学力の向上」と「学習習慣を付けること」です。しかし、今までのやり方で果たしてそれが望めるのか疑問が残ります。学力向上には、自分がわからない問題をわかるようにするプロセスが必要です。今までのやり方は、宿題を与えていた学校側の扱い方の問題もあり、提出することが目的になってしまっていて、わからない問題を飛ばしてでも提出を優先していたと思います。私もそうでしたし、私の子供たちもそうでした。本当はわからない問題にこそ、時間をかけて取り組むことが必要なのにです。一律の宿題は、わかっている生徒には無駄な時間ですし、わからない生徒には重荷でした。

私たちは、中学生の皆さんに、中学校で学ぶ間に少しでも自分で学習を進めていける力をつけてほしいと思っています。そのために、2学期から宿題の取組方を「追究学習」方式に変えていきます。

2 追究学習

与えられてする学習から脱却するために、一律に出す宿題をやめ、まず、「定期テスト」を区切りとして、皆さんが自分のテーマに沿った「追究テーマ」を決めます。皆さんはノートに、テーマに沿った授業の復習やテキストなど、自分のペースで学習を進めていきます。はじめは何をしたらいいかわからないという人もいるでしょう。その時は、担任の先生と個別に相談します。

3 宿題を出してとは言いません

与えられてする学習から脱却し、自分で考えて学習を進めていくのですから、学校ではもう「宿題を出して」とは言わないことにします。極端なことを言えば、宿題をしてこなくても叱られることはありません。ペナルティーもありません。だから、安心して学校に来てください。安心して来るうちに「自分でやってみようかな」という思いを自然にもってほしいと思っています。最初からうまくいくはずがありません。学校では、相談して練習して、学び合う時間を設けます。そうしているうちに、自分で学習を進める力が伸びていくと思います。

(問い合わせ先：東海中学校 校長 48-2821)